

## 第3回「社会法講義 ②社会保障法」

2023.04.26. 佐藤

**本日の目的**：事例選択と報告予定の確認、社会法講義①労働法

### 1. 報告担当事件と報告文献(修正)

安達 陸 10 ハラスメント

基本文献 大和田敢太「ILO条約とハラスメント規制の原点」労旬(労働法律旬報)1947号(2019年)6頁

参考文献 水町勇一郎「フリーランスへのハラスメントと安全配慮義務」ジュリスト 1577号(2022年)144頁 ☆ 「☆」は、オンラインで入手できるものです。

草分 希海 14 技人国

基本文献 早川智津子「外国人労働者の法政策」労働法の争点(2014年)16頁

参考文献 鈴木江理子「外国人労働者受入れの現状と課題」季刊労働者の権利 341号(2021年)53頁

辻 悠悟 18 男性育休

基本文献 武井寛「育児・介護休業法の意義と課題」労働法の争点(2014年)122頁

参考文献 丸山亜子「男性育児休業をめぐる2021年育児介護休業法改正の課題」季刊労働者の権利 348号(2022年)2頁

内藤 千晴 1 アマゾン配達員労組

基本文献 竹内寿「集団的労働関係における労働者」労働判例百選[第10版](2022年)8頁☆

参考文献 毛塚勝利「個人就業者をめぐる議論に必要な視野と視座とは」季刊労働法 267号(2019年)58頁

三上 翔大 17 待機児童と行政責任

基本文献 福田業生「保育契約の法的性格」社会保障判例百選[第3版](2000年)206頁

参考文献 田村和之「市町村の「保育の実施義務」について」賃金と社会保障 1678号(2017年)4頁

山岡 莉奈 16 生活保護引き下げ事件生活保護の国籍要件

基本文献 菊池馨実「高齢加算廃止と生活保護法」社会保障判例百選[第5版](2016)8頁☆

参考文献 阿部広美「生活保護基準引下げ違憲訴訟熊本地裁判決<解説>」賃金と社会保障 1811・1812(2022年)81頁

吉田 剛 12 パート

基本文献 富永晃一「正規・非正規の不合理な相違の禁止」労働判例百選[第10版](2022年)166頁 ☆

参考文献 水町勇一郎『「同一労働同一賃金」のすべて』(新版、有斐閣、2019年)第3章「改正法の内容」、「2.パートタイム・有期雇用労働法」

吉山 音々 19 児童手当の銀行口座からの差押え

基本文献 鶴田滋「児童手当振込口座の預金債権の差押え」社会保障百選[第5版](2016年)198頁 ☆

参考文献 中野妙子「児童手当を原資とする預金債権に対する地方税滞納処分の適法性」ジュリスト 1485号(2015年)131頁 ☆

WANG Yanrong 5 解雇の金銭解決

基本文献 島田洋一「整理解雇」労働判例百選[第10版](2022年)150頁 ☆

参考文献 土田道夫「解雇の金銭救済制度について」季刊労働法 259号(2017年)2頁  
徳住堅治「労働者側弁護士から見た」季刊労働法 259号(2017年)7頁  
石井妙子「使用者側代理人からみた」季刊労働法 259号(2017年)36頁:

\*「基本文献」は、基本的に百選なので2頁程度。報告者以外も読んでおくこと。

## 2. 講義計画

4/12	第 01 回	事例の選択	
/19	第 02 回	社会法講義①労働法	
/26	第 03 回	社会法講義②社会保障法	
5/10	第 04 回	レポートの書き方／報告準備	
/17	第 05 回	報告事例 (18) <辻>	プレゼン<山岡>K-Pop
/24	第 06 回	( 1) <内藤>	<吉山>便秘・つぼ
/31	第 07 回	(14) <草分>	<安達>格闘技
6/03	第 08 回	(ナイショでお休み)	
/07	第 09 回	(17) <三上>	<草分>サッカー
/14	第 10 回	(10) <安達>	<内藤>マリーンズ
/21	第 11 回	(16) <山岡>	<Wang>日本のおもしろいところ
/28	第 12 回	(12) <吉田>	<辻> 北海道など 4 点
7/05	第 13 回	(19) <吉山>	<三上>料理
/12	第 14 回	( 5) <Wang>	<吉田>韓ドラマ
/19	第 15 回	レポート提出	

## 3. 報告準備の手順

1)事例と文献を読む

**2)「報告すべき事項」は、①論点・②関連する法(法律・判例)・③諸説・④自説**

3)上の「報告すべき事項」をレジюмеにする

4)レジюмеを全員分(9人+教員=10枚)コピーして配布

←以下の、印刷用の ID、password を使用する

5)そのレジюмеを報告する(1人5分程度、最長で10分)

←報告当日の展開演習の場では主に、自らの見解について意見交換する

自らの見解はオリジナルなものでなければなりません

専門演習では、それに加えて論証ができていなければなりません

展開演習では、そこまでは要求しませんので、アイデアレベルでかまいません

6)報告ならびにそこでの私からの指摘、演習での議論をもとに論文を作成する

7)論文の締め切りは、7月19日・講義の時間、字数は、9000字程度

提出先は、私(事務室、あるいは学びステーションではありません)

## 4. その他

1.ゼミ役員

総理 <山岡> 仕事：最終決定権者

幹事長 <安達> 仕事：雑用諸々

食事会担当<辻> 仕事：食事会の手配

2.食事会 5月21日(日) <辻>

## 5. 社会法講義 ①労働法 \*配布資料の参照

1.「労働法」とは社会権 憲法 25 条、27 条、28 条

2.集団的労働関係法(労働団体系)

団結権：労働組合を結成する権利、自由な組合活動の権利

日本国憲法の欠缺：国際人権規約には「自由な組合活動の権利」が明記

結社の自由との相違：存続の権利も認めている

団体交渉権：交渉する権利、労働協約

独自の権利として保障しているのは希：団体交渉権とは独立した団結家はあり得ないため

独自の権利としているのは米国の影響：米国は独自の権利とする意味がある

団体行動権：労使双方が実力行動をする権利

上の二権と比して、業務を妨げる度合いが大きいため、権利として承認されたのは遅れる

### 3. 個別的労働関係法(労働保護法)

労働保護法の位置：最低限保障(刑罰付き)、労使(労働組合も含め)交渉によって+αが前提  
労働基準法の章立てに沿って

#### 第1章 総則：原則

+雇用機会均等法(3条・4条)、労働者派遣法(6条)

#### 第2章 労働契約：契約条件明示・解雇規制

+労働契約法、パート・有期労働法(14条)

#### 第3章 賃金：支払い確保

+最低賃金法(27条)、賃確法

#### 第4章 労働時間・休息：原則・変形性・休憩・休日・延長・年次有給休暇

+時短促進法、育児介護休業法

#### 第5章 安全及び衛生

+労働安全衛生法(42条)、過労死等防止対策推進法、労働施策総合推進法

#### 第6章 年少者

#### 第6章の2 妊産婦等

#### 第7章 技能者の養成：徒弟制度

#### 第8章 災害補償

+労働者災害補償保険法

#### 第9章 就業規則

#### 第10章 寄宿舍 \*現在はほとんどない、「社宅」とは異なる

#### 第11章 監督機関：労働着監督

+個別労働紛争解決促進法、労働審判法

#### 第12章 雑則：刑罰規定(特別刑法)

## 6. 社会保障法

1. 救貧法と現代社会保障法：権利性、とりわけ福祉 (stigma→朝日訴訟)

2. 社会保障法の体系

1) 実定法整理、機能的整理

2) 権利論(生存権)と財政論

3) 社会保障法と他の法分野(労働法→労災・行政法→公的制度・民法→扶養)

3. 実定社会保障法

1) 社会福祉法：無拠出→サービス(一部金銭)

公的扶助法、個別福祉・手当法(児童、高齢者、障害者、母子)、実施体制

2) 社会保険法：拠出→保険金

		使用者	受給者
労働保険法	労災保険法	○	×
	雇用保険法	○	×
年金保険法	厚生年金保険法	○	○
	国民年金保険法	×	○
医療保険法	健康保険法	○	○
	国民健康保険法	×	○
介護保険法			

○が、拠出者、×は、拠出しない者をさす。

3) その他

4. 国籍要件

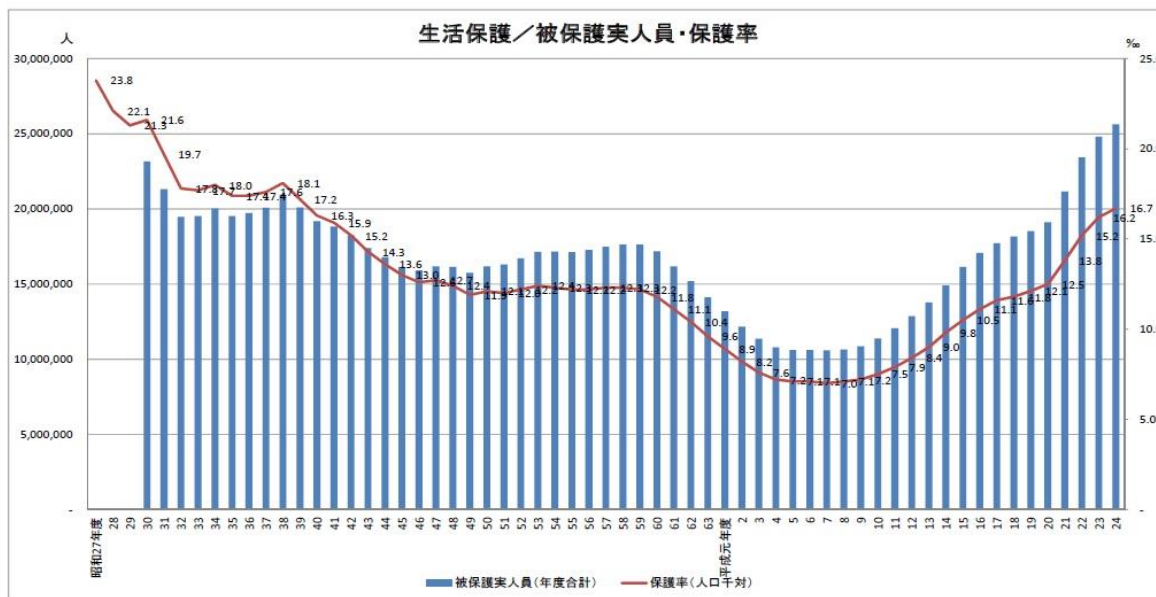
1) 法改正の経過

2) 生活保護法：理由と運用

## 5. 社会福祉法

### 1. 公的扶助法

#### 1) 生活保護受給者

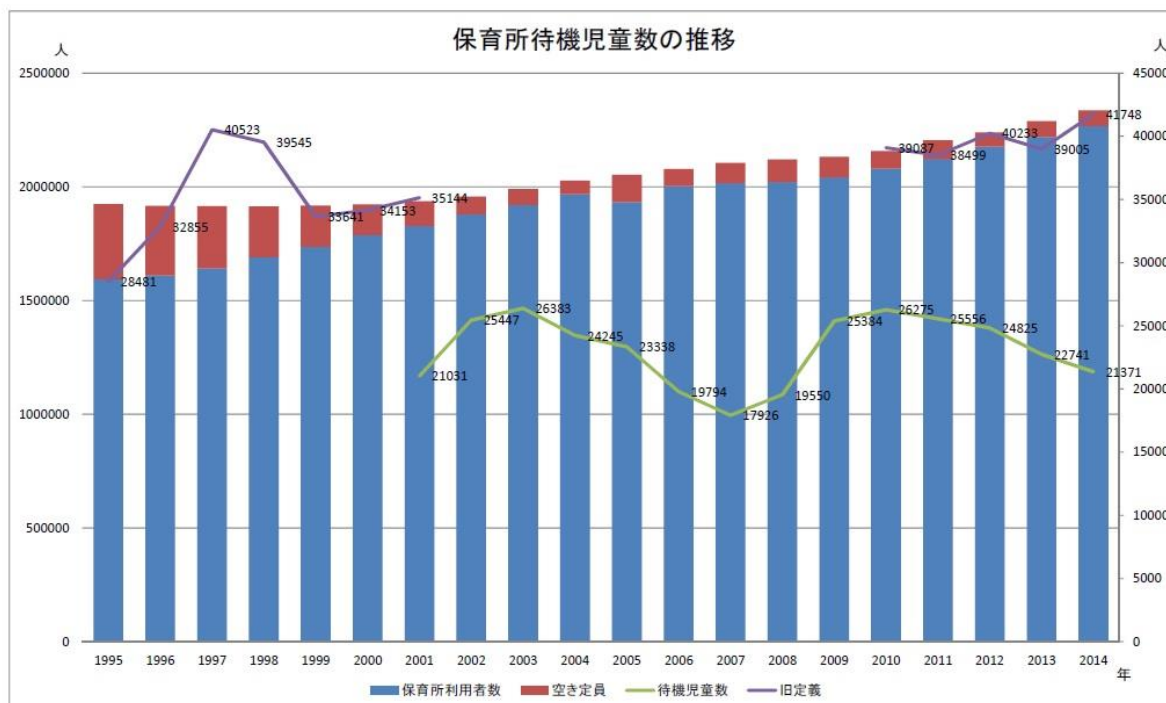


#### 2) 生活保護法：原理・原則

- <原理>無差別平等、最低生活保障、補足性、
- <原則>申請保護、基準適用、必要即応、世帯単位

### 2. 個別福祉法

#### 1) 児童福祉法、子ども・子育て支援法



#### 2) 高齢者福祉法 → 介護保険へ

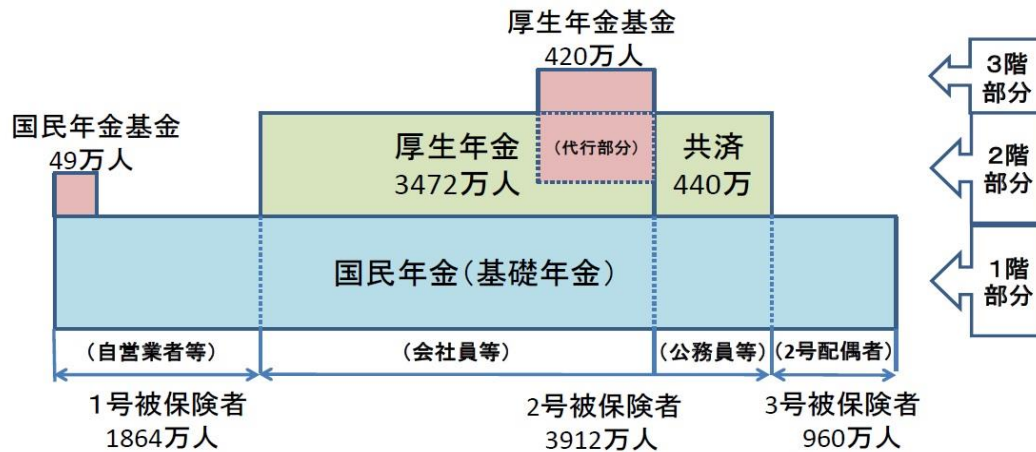
#### 3) 障害者福祉法

#### 4) 母子寡婦福祉法

## 6. 社会保険法

### 1. 年金保険

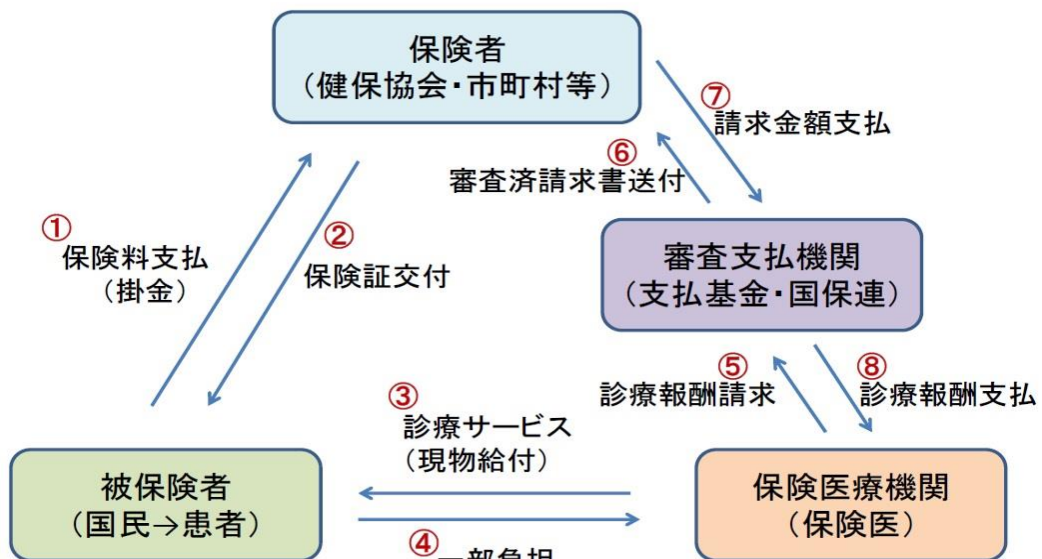
# 公的年金制度



加入者数は2013年3月末現在

### 2. 医療保険法

# 医療保険の仕組み



## 介護保険の仕組み

